

日本語学校に通う中国人学生の被差別感と原因帰属との関連

黄 美蘭

学位取得年月：平成 22 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 中国人日本語学校生、 被差別感、 原因帰属、 日本・日本人のイメージ、 KJ 法
【要旨】

本研究では、中国人日本語学校生が感じる被差別感事例の内容を分析し、アルバイト先での被差別感事例の内容、原因帰属及びその事例による日本・日本人のイメージの変化を KJ 法でまとめ、分析を行った。

その結果、中国人日本語学校生は、国籍、言語、日本人の排他的態度・行動などの内容で被差別感を感じていることが示された。アルバイト先では、国籍、言語、日本人との不平等な扱いなどの内容で被差別感を感じ、原因を外国人/中国人の個人と集団、日本人の個人と集団、文化要因に帰属させ捉えている傾向がみられた。さらに、原因を帰属させるところの違いによって、事例発生後の日本・日本人のイメージがかなり異なっている傾向が見られた。

(こう びらん)

「誘い」表現における中日対照研究 —誘い部の言語行動に着目して—

黄 明淑

学位取得年月：平成 22 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 誘い表現、 言語行動、 共同行為要求、 誘導発話、 注目表示
【要旨】

本研究では、中日両言語の談話レベルでの対照の立場から、「誘い」行為における両言語の特徴及びコミュニケーション・ルールの違いを見出すことを目的とし、誘いの談話の構造を明らかにすることに焦点を当てて、中国語母語話者 (CNS) と日本語母語話者 (JNS) の誘い部における共通点と相違点を比較、考察している。

本研究では誘い手の誘い部における言語行動に着目して、まず、CNS と JNS の全体的意味公式や種類別の意味公式の使用頻度を明らかにし、種類別の意味公式の内、「共同行為要求」「誘導発話」「注目表示」のそれぞれの共通点と相違点について述べている。

その結果、CNS はポジティブ・ポライトネス重視の誘い方をする傾向が強く、JNS はネガティブ・ポライトネス重視の誘い方をすることが示唆された。

(こう めいしゆく)